



主要なODAプロジェクトマップ

1956年以来、日本政府はマレーシアの社会経済開発への取り組みに対し様々なタイプの協力を行ってきました。ここでは政府開発援助（ODA）にて実施した主なプロジェクトを紹介しています。



ペリス製糖工場建設



ペリスの甘蔗プランテーション内に製糖生産5,500トン/日の製糖工場を建設。1973年完成。

ペリスダム建設



ペリス川流域にダム（貯水量12,200万m³）を建設し、ペナン州における生活・工業・灌漑用水を供給。2004年完成。

地方開発（貧困削減）計画



クランタン州の貧困削減のため、南部クランタン開発公社を通じて、地域開発に必要な地方道路、上下水道、土地開発などの基礎インフラ整備を実施。1992年完成。

水管理訓練計画



クランタン州コタバルの米の増収を図るため、2期作栽培の普及に必要な未雨の灌漑排水施設の整備と水管理技術者の養成を実施。1977年～1986年。

ペルシア水力発電



上ペラク地区に発電能力72 MW(24MW発電機×3基)の水力発電所を建設。1983年完成。

トレンガヌ水力発電



トレンガヌ川中流にロックフィルダム、設備能力400MWの水力発電所等を建設。完成は1985年。

バハンスランゴール導水事業



バハ州から導水トンネルを経てスランゴール州に原水を導水することにより、クアラUMPル特別州における安定的な水供給を図るもの。完成は2015年を予定。

セレンバン〜アイルヒタム有料高速道路



セレンバン〜アイルヒタム有料高速道路のうちインターチェンジ改良工事、等を行ったもの。完成は1987年。

ピンツル港建設



サラワク州ピンツルにLNG、アンモニア尿素肥料等の積み出し港としての国際港を建設。完成は1982年。

ラバン連邦直轄区電力設備増強



ラバン島のバタバ発電所内に設備能力33.2MWのガスタービン発電所を増設。完成は1995年。

サバ州を拠点とする生物多様性・生態系保全のための持続可能な開発プロジェクト



自然と共生した社会の実現と、約10年間の日本の技術支援によりサバ州に蓄積された生物多様性・生態系保全の経験や知見の、マレーシア国内外への共有を目的に、2013年-2016年実施。

クロッカー山脈横断道路



コタキナルとサンダカンを結ぶ幹線道路の一部であるクロッカー山脈横断道路（71km）の改良工事。完成は1982年。

テムバンギ水力発電



コタキナル近郊のテム渓谷に設備能力66MW（22MW×3）の水力発電所及び送電線を建設。完成は1983年。

洪水被害により損傷を受けたテムバンギ水力発電所の施設を修復。完成は1998年。

バタンアイ水力発電所



サラワク州クチン東方約180kmのバタン・アイ川上流に設備能力92MW（23MW×4）の水力発電所及び送電線を建設。完成は1985年。

サラワク大学建設



サラワク大学においてキャンパスおよび関連施設等を拡充したもの。2007年に完成。

ジョホール港建設



ジョホール港の国際化の為、岸壁の整備を実施。

バシール・クダン火力発電



バシール・クダン地区に240MW（120MW×2）の火力発電所を建設。完成は1982年。

クアラUMPル新国際空港建設



国際旅客や貨物の増大に対応する新クアラUMPル国際空港建設におけるターミナルビル及び関連施設の建設。完成は1998年。

ポートクラン火力発電



ポートクラン地区に合計2400MWの火力発電所を建設し電力需要増に対応したもの。完成は2001年。

障害者の社会参加支援サービスプロジェクト



障害者の社会参加の向上に向けた、支援付雇用や関連する各種政策やサービスの向上を目指した技術移転。2009年-2015年実施。

マレーシア海上法令執行庁に対する協力



日本の海上保安庁の協力の下、マラッカ・シンガポール海峡の安全保障のための、海上法令執行、捜査救難機能の強化を目指した技術移転。2005年-2016年実施。

サバク・ベトナム橋建設



ベトナム川を横切る延長約460mの2車線（片側1車線）の橋梁を建設。1978年完成。

マレー鉄道



KTMBのディーゼル機関車購入や橋梁建設、通信設備設置などに対して5件の円借款を供与。

日本マレーシア技術学院



電子、コンピュータ、生産管理およびメカトロニクスの分野の高度技術者を養成するための技術移転および機材供与。1998年-2004年。

全国下水処理



下水道施設未整備都市・地区を対象に下水処理場、汚泥処理場等を建設。2009年完成。

ボランティア派遣事業

JICAは開発途上国支援のスキームの一つとしてボランティア派遣事業を行っています。この事業では開発途上国の人々のために技術や経験を活かしてみたい、という強い意思を持つ青年やシニアの方々を派遣しています。ボランティア事業の特徴は、地域や草の根レベルに直接働きかけることです。現地の価値観、生活様式、文化を尊重し、人々と直接触れ合い、交流しながら開発途上国の国造りのための協力を行っています。マレーシアへの最初の青年海外協力隊派遣は1966年に始まり、今までにシニア海外ボランティアも含めて約1500人が活動してきました。最近の派遣分野は、社会福祉、環境保護、職業訓練が中心です。





ODAとは?
Official Development Assistance (政府開発援助)の頭文字を取ったものです。政府または政府の委託機関によって開発途上国または国際機関に供与されるもので、開発途上国の経済・社会の発展や福祉の向上に役立つために行う資金・技術提供による協力のことです。

JICAとは?
JICA (国際協力機構) は独立行政法人国際協力機構法 (平成14年法律第136号) に基づき設立された独立行政法人で、開発途上国等の経済及び社会の開発若しくは復興又は経済の安定並びに我が国及び国際社会の健全な発展に資することを目的としています。

JICAの役割
開発途上国の社会・経済の発展を促進するため、政府をはじめ、国際機関、NGO、民間企業などとさまざまな組織や団体が経済協力を行っています。これらの経済協力のうち、政府が開発途上国に資金や技術の協力 (ODA: Official Development Assistance) は、その形態から二国間援助、国際機関への出資・拠出 (多国間援助) に分けられ、JICAはこのうち二国間援助の形態である技術協力、無償資金協力、無償資金協力を担っています。

マレーシアにおけるJICA活動の歴史
1956年 マレーシアから日本へ初回無償資金援助
1965年 青年海外協力隊経済開発
1966年 マレーシアにて技術協力の開始
1969年 マレーシアにて円借付開始
1975年 JICA マレーシア事務所設立
1980年 マレーシア地方官庁による研修生受入れ開始
1982年 アジア開発銀行に特別協賛
2006年 新 JICA 設立 (JICA・ABC 統合)

独立行政法人 国際協力機構 マレーシア事務所
Suite 29.03, Level 29, Menara Citibank,
165, Jalan Ampang, 50450 Kuala Lumpur, Malaysia.
Tel: 03-2166 8800 Fax: 03-2166 8900
http://www.jica.go.jp/

SARAWAK

SABAH

Longhouse

サラワク木材有効利用研究

サラワク州森林局の木材研究技術訓練センター (TRITCO) で、1993年から1995年まで、伐採量減少のため、木材利用技術を向上し、資源を効果的・効率的に利用する技術協力事業を実施しました。

サラワク総合病院救急医療

サラワク総合病院における救急医療体制の整備および医療従事者の技術水準向上のための技術協力が行われました。対象分野は、脳神経外科、整形外科、看護婦、医療機器保守、放射線技師、検査技師、等です。アフターケアを含め2002年に終了しました。

Safoda Jica 通り

Safoda (サバ州森林開発公社) とJICAの協力事業に関連し、その活動場所へと通じる道 (サバ州ババル都キナルトという場所) にこの名前がつけられました。

PERLIS

Gua Kelam

ペルリス州チュピン地区にある甘蔗プランテーション内に製糖生産5,500トン/日の製糖工場を円借款で建設。1973年に完成しました。

ペルリス製糖工場建設

下水道施設未整備都市・地区を対象に下水処理場、汚泥処理場等を円借款で建設し、全国的な公衆衛生環境の改善、河川の水質改善、さらに自然環境の保全を図る事業でペルリス州ではカンガーに建設され、2009年に完成しました。

全国下水処理

草の根技術協力事業

草の根技術協力事業は、日本のNGOや自治体、大学等がこれまでに培ってきた経験や技術を活かして企画した途上国への協力活動をJICAが支援し、共同で実施する事業です。

福岡県福岡市下水道局は、ペラ州イポー市に対し、現場に即した技術協力を実施し、イポー市の下水道事業を担う人材の育成に協力しました。2007-2009年。

沖縄県のNPO沖縄リサイクル運動市民の会は、サバ州のNGOであるEnvironmental Action Centre (EAC) と共同で、固形廃棄物の3R (Reduce: 減らす, Reuse: 再利用, Recycle: 再生利用) 啓発活動への取り組みを実施しました。2008-2010年。

KELANTAN

Wau

障害者の自立と社会参加の推進を目的に、協力事業により障害者福祉向上支援を行っています。クランタン州は重点州のひとつであり、協力隊員が州内31ヶ所のCBRを巡回し、地域住民や障害者とその家族がより主体的に行動できる為の支援や働きかけを行っています。

ボランティア事業青年海外協力隊 (社会福祉系分野)

1966年にマレーシアで初めて行われた技術協力で、医師、看護婦、X線技師からなる7名の診療団を派遣して診療に従事させると同時に、医薬品等の機材供与を実施しました。

国立病院診療団 (クアラクライ地区)

TERENGGANU

Leatherback Turtle

1984年から1995年まで農科大学海洋水産学部及び海洋科学研究所の教官・研究員等の一層の技術レベル向上を図るために技術協力を実施しました。

マレーシア農科大学海洋水産学部拡充

沖合遠洋漁業開発に必要な人材を育成するため、トレンガヌ州チェンダリングにある漁業訓練所に研修訓練を行うための施設、訓練船、機材の整備に1990年に無償資金を供与しました。

漁業訓練所近代化計画

1991年に無償資金協力でトレンガヌ州博物館に視聴覚車を供与しました。

トレンガヌ州博物館に対する視聴覚車

KEDAH

Alor Star Tower

ケダ州クリムにおけるハイテク工業団地の基本計画・設計を1991年に実施。その後、同団地の中核となるテクノセンター経営に関する調査も実施。同団地は現在も外資を中心に企業誘致が行われ、拡張が進んでいます。

ハイテク工業団地 (クリム)

1992年に無償資金協力によりケダ州立図書館に対して視聴覚・展示機材を供与しました。

ケダ州立図書館に対する視聴覚・展示機材供与

PERAK

Kelle's Castle

1998年までに合計12人の日本人教師が日本語を教える協力隊員としてザ・マレーカレッジ・クアラ・カンサー (The Malay College Kuala Kangsar) に派遣されました。同カレッジには天皇・皇后両陛下が2006年にご訪問されました。

ボランティア事業 青年海外協力隊 (日本語教師) ザ・クアラ・カンサー マレー教員養成カレッジ (The Malay College Kuala Kangsar)

アセアンを対象とした家禽病の研究および研修、また、情報の拠点を目指して無償資金協力でセンターが建設されました。1989年の完成です。

アセアン家禽病研究訓練

SELANGOR

The Blue Mosque

マラヤ大学に特別コースの専用施設として無償資金協力により日本語校舎の建設と教育用機材の導入を図り、日本留学を目指す学生を対象に予備教育の提供を行っています。施設の完成は1984年です。

マラヤ大学日本語舎

円借款により最新医療機器を導入した医療教育施設の整備を通じて医療教育の向上、診療分野での研究開発促進、及び医療サービスの提供をUKMにおいて行うものです。2001年に完成しました。

マレーシア国民大学 (UKM) 医学部付属病院

KUALA LUMPUR

Petronas Twin Towers

マレーシアの産業人材育成のために、計量等工業標準、金属加工、鋳造などの要素技術、ファンセラミクスなどの先端技術、また産業廃棄物処理などの環境分野等において技術協力を実施しました。1978年に初の協力が実施されて以来、30年以上協力をしました。

マレーシア工業標準研究所

1993年の同公社設立の翌年から5年間の技術協力を実施しました。現在、同公社は海外貿易に携わる国内外の企業等への貿易関連情報提供源として重要な役割を果たし、マレーシアの貿易振興に貢献しています。

貿易開発公社

PENANG

Penang Bridge

ペナンにあるASEAN教育大臣機構の理数科教育センター (SEAMEO-RECSAM) で、アフリカ諸国の教員や指導官を対象に、理数科教育強化のための研修をマレーシア政府と合同で実施しています。

アフリカ向け理数科教員研修

視覚障害者への鍼灸マッサージ指導30年以上の経験を持つ視覚障害者 (全盲) のシニアボランティアが、視覚障害者に職業訓練を提供しているペナンのNGOセントニコラスホームに2008年から2010年にかけて派遣されました。これは障害当事者のJICAボランティア長期派遣の第1号です。

ボランティア事業 シニア海外ボランティア (視覚障害者への鍼灸マッサージ指導) (NGO セントニコラスホーム)

NEGERI SEMBILAN

Cultural Handicraft Complex

円借款により、老朽化した旧発電所を新たに温暖化ガス排出量の少ないガスコンバインド方式の設備に置き換えました。2008年に完成しました。

ポートディンソン火力発電所リハビリ

無償資金協力によりマラッカ海峡の5つの遠隔センサーサイトおよび3つのエリア管理センターにおいて、レーザーカメラシステムおよび無線方位探知システムを導入し、マラッカ海峡および領海における海上法令執行の組織の能力強化を目指した事業で、2008年に完成しました。

海上監視システム

1998年から2003年までマレーシアプトラ大学の水産資源および海洋環境研究分野の調査・研究能力を強化する事業を技術協力で行いました。

水産資源・環境研究計画

MELAKA

A' Famosa

無償資金協力によりマラッカ海峡の5つの遠隔センサーサイトおよび3つのエリア管理センターにおいて、レーザーカメラシステムおよび無線方位探知システムを導入し、マラッカ海峡および領海における海上法令執行の組織の能力強化を目指した事業で、2008年に完成しました。

海上監視システム

2009年から2010年にかけてパハン河を含め、マレーシアの主要地方都市の対象河川流域において、流域管理組織の能力強化を図りつつ、統合河川流域管理計画ならび統合洪水管理計画の策定を支援しました。

水産資源・環境研究計画

クアラカンボンア送電線

クアラランブール北変電所からカンボンア変電所までの130kmに275KV・2回線の送電線を円借款で建設しました。完成は1982年です。

マレーシア国地方主要都市洪水制御事業協力準備調査

PAHANG

Taman Negara

1976年から1981年まで、MARA職業訓練学校において船舶機関科、溶接 (造船) 科、及び電気メッキ科の3科に対し技術協力を実施しました。

MARA ジョホールバハリ職業訓練校

日本とマレーシアの大学間協力を通じてイスカンダルを対象に、低炭素社会シナリオアプローチ法の仕組み・体制整備及び施策ロードマップを策定し、実際に低炭素社会の実現に貢献する協力が行われています。

アジア地域の低炭素社会シナリオの開発